

正誤表	2017-2018年版 みんなが欲しかった！ FPの教科書1級 Vol.1 ライフプランニングと資金計画・リスク管理/年金・社会保険/ 金融資産運用
------------	---

7083

本書において下記のとおり、誤りがございました。

内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

TAC出版

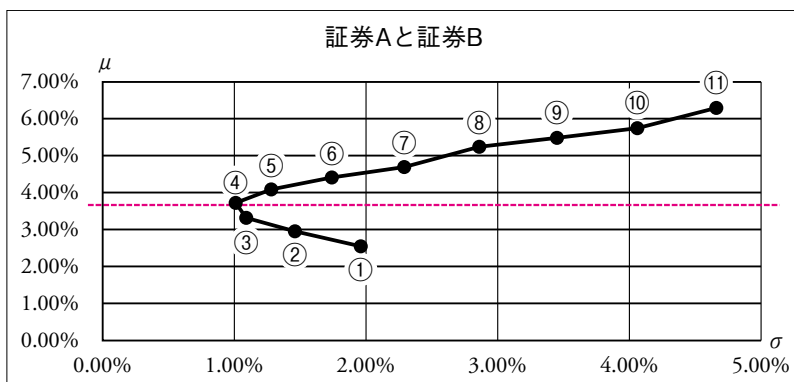
頁	訂正箇所	誤	正
ライフ 48	表中 下から2行目	手数料不要	手数料不要。 なお、平成29年4月1日以降は一部繰上返済についても手数料が不要となった。
年金・ 社会保険 149	下の囲みの中 受給要件	<p><①(c) (d) を以下の文章に差替え></p> <p>(c) 保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が25年以上ある老齢基礎年金の受給権者が死亡した</p> <p>(d) 保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が25年以上ある人が死亡した</p>	
年金・ 社会保険 154	表中 受給要件	<p><長期要件の内容を以下の文章に差替え></p> <p>◆保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が25年以上ある老齢厚生年金の受給権者または保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が25年以上ある人が死亡したとき</p>	
金融 291	例題	<p>表中 平常時・生起確率 <u>80%</u></p> <p>下から2行目 期待収益率 = $10\% \times 0.2 + 8\% \times \underline{0.8} + (\triangle 3\%) \times 0.2 = \underline{7.8\%}$ 期待収益率は <u>7.8%</u></p>	<p><生起確率の合計を100%に修正></p> <p>表中 平常時・生起確率 <u>60%</u></p> <p>下から2行目 期待収益率 = $10\% \times 0.2 + 8\% \times \underline{0.6} + (\triangle 3\%) \times 0.2 = \underline{6.2\%}$ 期待収益率は <u>6.2%</u></p>
金融 292	例題	<p>表中 平常時・生起確率 <u>80%</u></p> <p>分散 = $(10\% - \underline{7.8\%})^2 \times 0.2 + (8\% - \underline{7.8\%})^2 \times \underline{0.8} + (\triangle 3\% - \underline{7.8\%})^2 \times 0.2$ $= \underline{4.48} \times 0.2 + \underline{0.04} \times \underline{0.8} + \underline{116.64} \times 0.2 \div \underline{24.3}$ 標準偏差 = $\sqrt{\underline{24.3}} \div \underline{4.9\%}$</p>	<p><生起確率の合計を100%に修正></p> <p>表中 平常時・生起確率 <u>60%</u></p> <p>分散 = $(10\% - \underline{6.2\%})^2 \times 0.2 + (8\% - \underline{6.2\%})^2 \times \underline{0.6} + (\triangle 3\% - \underline{6.2\%})^2 \times 0.2$ $= \underline{14.44} \times 0.2 + \underline{3.24} \times \underline{0.6} + \underline{84.64} \times 0.2 \div \underline{21.8}$ 標準偏差 = $\sqrt{\underline{21.8}} \div \underline{4.7\%}$</p>
金融 276	上の板書	<p>K (ストライクレート) の位置を右に移動 (下図参照)</p>	
金融 301	表とグラフ	表の一番右の「標準偏差」の欄と「証券Aと証券Bのグラフ」を次ページのPDFに差替えてご参照ください。	

以上

このポートフォリオにおいて、証券Aと証券Bの組入比率を変えて、期待収益率とリスクを算出した表は、次のとおりです。

	A証券組入比率	B証券組入比率	期待収益率(μ)	標準偏差(σ)
①	0%	100%	2.60%	1.96%
②	10%	90%	2.96%	1.46%
③	20%	80%	3.32%	1.09%
④	30%	70%	3.68%	1.01%
⑤	40%	60%	4.04%	1.28%
⑥	50%	50%	4.40%	1.74%
⑦	60%	40%	4.76%	2.29%
⑧	70%	30%	5.12%	2.86%
⑨	80%	20%	5.48%	3.45%
⑩	90%	10%	5.84%	4.06%
⑪	100%	0%	6.20%	4.66%

この縦軸に期待収益率(μ)を、横軸に標準偏差(σ)をとってグラフ化します。



すると左側に凸の放物線が描けます。赤い点線を境に上下にみて同じリスクをとる部分がありますが、同じリスクならリターンが大きい組合せを選択する方が有利です。つまり点線から上側の部分が同じリスクで高いリターンが期待できる点の集合体となります。証券Aと証券Bに投資する場合に、適切